

フェリス女学院大学

こひやま
小檜山 ルイ

フェリス女学院大学学長



荒井真前学長の任期満了に伴い、2024年4月1日付で小檜山ルイ学長が就任した。任期は4年間。本学初の女性学長。

新学長は、1980年国際基督教大学教養学部卒業、1982年ミネソタ大学大学院修士課程アメリカ研究プログラム修了(M.A.)、1991年国際基督教大学大学院比較文化研究科博士後期課程修了(学術博士)。1983年以降、国際基督教大学教養学部助手、関東学院大学経済学部専任講師、同助教授を経て、1996年東京女子大学現代文化学部助教授に着任し、2024年3月まで同現代教養学部教

授。2018年から2024年まで学校法人フェリス女学院理事・評議員。

専門分野は、アメリカ女性史・ジェンダー史/日米関係史。著書に『明治の「新しい女」(勁草書房、2023年)などがある。

本学は、2025年に現行の3学部(文学部・国際交流学部・音楽学部)を発展改組し、グローバル教養学部(1学部3学科9専攻)を新設する。広い世界で生きられる力を備えた人材を社会に送り出していくとともに、「開かれたフェリス」を目指し改革を進めていく。

学習院大学
学習院女子大学

えんどう ひさお
遠藤 久夫

学習院大学学長



荒川一郎前学長の任期満了に伴い、2024年4月1日付で遠藤久夫経済学部教授が学長に就任した。

遠藤新学長は1954年東京生まれ。1980年に横浜国立大学経済学部卒業。保険会社勤務を経て慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了、一橋大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学。民間シンクタンクを経て1997年学習院大学経済学部教授に就任し、現在に至っている。専門分野は医療経済学。中央社会保険医療協議会会長、社会保障制度改革国民会議会長代理、全世代型社会保障検討会議委員、国立社会保険

人口問題研究所所長、医療経済学会会長などを歴任し、現在は社会保障審議会会長、子ども未来戦略会議委員を務める。

学習院大学は、戦前の官立学校から新制の私立大学に転換して今年で75周年を迎える。派手さはないが時代の要請に応じて着実に発展してきた。現在、学習院女子大学を統合して、学習院大学の新たな学部とすることを構想中である。これを推進して学習院大学の教育・研究体制のさらなる充実を図りたいと話す。

阪南大学

ひらやま ひろし
平山 弘

阪南大学 学長



2024年4月1日付で平山弘教授が学長に就任した。

平山学長は1961年生まれ、神戸市灘区出身。1985年大阪経済大学経済学部卒業、1988年神戸大学法学部卒業。1997年大阪大学大学院経済学研究科博士前期課程修了、2001年神戸商科大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得満期退学。高等学校教員を経て、2003年阪南大学流通学部専任講師、2009年より同学部教授、2013年同学部学部長に就任。2015年阪南大学大学院企業情報研究科教授を経て、2021年に阪南大学大学院企業情報研究科長に

就任。

日本教師会理事、文部科学省教科用図書検定調査審議会専門委員などを歴任。専門は商学・マーケティングで、主要なテーマはブランド価値の創造と崩壊に関する研究。

阪南大学は1965年に開学。実学教育を重視し、「即戦力人材」の育成を使命とし、キャリア支援事業を強化。2024年には学部改編を行い、4学部5学科1研究科体制、約4500名の学生を擁する総合大学に。新学長体制の下、「阪南大学ブランド」の価値を創造し、さらなる発展を目指す。

順天堂大学

だいだ ひろゆき
代田 浩之

順天堂大学 学長



新井一前学長の任期満了に伴い、2024年4月1日付で代田浩之学長が就任した。

代田学長は、1954年広島県生まれ。1979年順天堂大学医学部卒業。2000年順天堂大学医学部循環器内科学主任教授、2014年同医学部附属順天堂医院院長、2016年同大学院医学研究科研究科長・医学部学部長、2019年同保健医療学部学部長、2023年同大学院保健医療学研究科研究科長を歴任。研究分野は循環器病学、動脈硬化、冠動脈疾患、予防心臓病学。研究成果は「動脈硬化性疾患予防ガイドライン」の改訂にも反映さ

れた。循環器内科診療の中でも二次予防脂質低下療法の有効性を検証し、その普及に力を注ぐと共に理学療法士、診療放射線技師の育成などに取り組んだ。

高度医療・地域医療の拠点として社会に貢献すること、国際社会に寄与する人材を育成することは順天堂大学の重要な取り組みである。代田学長の下、9学部・5研究科における各分野の発展に力を尽くすとともに社会のニーズに応え、世界に存在感を示す大学、社会から支持され続ける大学を目指す。

共立女子大学

堀啓二

共立女子大学学長



川久保清学長の任期満了に伴い、2024年4月1日付で堀啓二学長が就任した。

新学長は東京藝術大学美術学部建築科卒業後に20年ほど設計事務所を主宰。2004年に本学家政学部生活美術学科（現建築・デザイン学部建築・デザイン学科）に着任。専門は建築設計。著書『図解雨仕舞の名デザイン』作品「小高交流センター（共同設計）」など。

共立女子大学が、今後、力を入れて取り組むのは「社会情勢に応じた歩みを止めない改革」だ。合わせて「リーダーシップの共立」という教育方針の徹底にも努める。現在は

先が見えない時代そして多様な時代で、人は一人では生きていけない。他者との協働が必要だ。このような時代に

必要な「リーダーシップ」とは、上からメンバを強く引っ張るトップダウン型ではない。グループで共通の目的を設定・共有しメンバに寄り添い励まし合い、協働して何事にも前向きに取り組む、解決策を生み出す相互支援型・全員発揮型である。全ての学生が「共立リーダーシップ」を身につけ、他者と協働して自分らしいリーダーシップを発揮し、社会の様々な分野で活躍できる自立した人材を養成する教育機関を目指す。

流通科学大学

清水信年

流通科学大学学長



藤井啓吾前学長の任期満了に伴い、清水信年副学長が4月1日付で学長に就任した。

清水新学長は、1972年大阪府生まれ。1995年神戸大学経営学部卒業、2006年同大学院経営学研究科を修了、博士（商学）。2000年奈良大学社会学部専任講師、2003年流通科学大学商学部講師、2004年同助教授、2011年同教授。2015年より同商学部経営学科主任、2018年同大学院流通科学研究科長、2020年同副学長を歴任。日本商業学会関西部会幹事、日本マーケティング学会理事。

製品開発論、リテール・マネジメント論。『1からのマーケティング（第4版）』（共編著、碩学舎、2019年）、『明日は、ビジョンで拓かれる』（共著、碩学舎、2015年）など著書多数。

人口減少社会の到来やAI技術の急速な発展といった大きな環境変化の最中、社会に新たな価値をもたらす人材を輩出することを本学の使命として考えている。社会との共創活動や人材の国際化への対応にも注力する。

専門は、マーケティング論、

流通経済大学

かたやま なおし
片山直登

流通経済大学学長



2024年4月1日付で片山直登教授が学長に就任した。新学長は1960年東京都生まれ。1982年早稲田大学理工学部卒業、1984年同大学院理工学研究科博士前期課程修了、1988年博士後期課程単位取得退学。2010年流通経済大学大学院物流情報学研究科博士。

主な職歴として、1990年金沢工業大学工学部講師、1996年流通経済大学流通情報学部助教授、2002年同教授、以降は学長補佐、流通情報学部長、副学長も務めた。

専門はオペレーションズリサーチ。研究テーマはネット

ワーク設計。著書に『ネットワーク設計問題』、『ロジスティクスの計画技法』（共著）がある。

流通経済大学は2025年に創立60周年を迎える。「実学主義」「教養教育」「少人数教育」のもと、プロジェクト活動やコモンズ活動を通じて、多様性を認め合い、地域との共創社会を創造できる指導的人材の育成を目指している。

白百合女子大学

いかり ともかず
猪狩友一

白百合女子大学学長



高山貞美前学長の退任に伴い、2024年6月1日付で、文学部国語国文学科教授の猪狩友一が学長に就任した。

新学長は1957年岩手県生まれ。1980年東京大学文学部国文学科卒業。1988年同大学院人文科学研究科国語国文学専攻博士課程単位修得退学（文学修士）。同大学院研究生を経て、1990年白百合女子大学文学部に専任講師として着任、1994年に助教授、2001年に教授に就任した。

専門は近代日本文学、ことに明治期の文学である。国木田独步、樋口一葉、徳富蘇峰らに関する論考のほか、岡倉

天心（美術と文学）、与謝野晶子（恋歌の近代）などに関する論文を発表。巖谷小波日記の翻刻と注釈も行っている。

シャルトル聖パウロ修道女会を設立母体とする白百合学園の中で、白百合女子大学は来年4年制大学として創立60周年を迎える。建学の精神をはじめ、創立以来培ってきた本学の根本にある「良さ」を堅持しつつ、時代や社会の変化に応じて自らを更新し続ける大学を目指していきたい。

森康俊(もりやすとし)

関西学院大学学長。'67大阪生まれ。'99東京大学大学院人文社会科学系研究科博士課程単位取得退学。修士(社会学)。専門はマス・コミュニケーション論。'23より現職。

一楽真(いちらくまこと)

大谷大学学長。'85大谷大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学(真宗学専攻)。博士(文学)。主著『親鸞の教化』『阿弥陀経入門』など。

扇慎哉(おうぎしんや)

学校法人上智学院学術情報局長。上智大学外国語学部ポルトガル語学科卒業。民間企業を経て'11同学校法人入職。人事局人材開発グループ長、人事局長を経て'247月より現職。

長田勝(ながたまさる)

学校法人立命館人事部長。'98立命館大学卒業。'98学校法人立命館入職。総合企画部、教学部、学生部、研究部、人事部の課長を経て、'23より現職。

阿部海秀(あべかいしゅう)

学校法人大正大学理事・事務局長。'92大正大学大学院文学研究科博士前期課程修了。'93

(学校法人大正大学入職。学長室長、総合政策部長、副事務局長を経て、'24より現職。

笠原喜明(かさほらよしあき)

学校法人東洋大学理事・事務局長。経理部、新学部設置準備室、大学改革支援室、業務改革室、人事部、経営企画本部事務室等を経て現職。

須藤智徳(すどうともり)

学校法人法政大学多摩事務部多摩事務課課長。

鎌田真(かまたまこと)

関西学院大学神戸三田キャンパス事務室キャンパス運営課課長。

関田一彦(せきた かずひこ)

創価大学副学長・学士課程教育機構長・教職大学院教授。'91イリノイ大学大学院教育学研究科修了(Ph.D. in Education)。

池上真人(いけがみまさと)

松山大学副学長。'06広島市立大学博士(学術)学位取得。'19から現職。専門は英語教育学。近著「英語学習者による英語依頼表現の丁寧度選択に関する比較研究」など。

嶋田みのり(しまだみのり)

東北学院大学ラーニング・コモンズ特任助教。修士(教育学)。創価大学教育・学習支援センター、同学総合学習支援センター助教を経て'16より現職。

伊藤文男(いとうふみお)

追手門学院大学共通教育機構教授。法政大学大学院経営学研究科キャリアデザイン学専攻修了。修士(経営学)。武蔵野大学、東京家政大学を経て、'19より現職。

菅和禎(すがかずさだ)

明治大学管財部施設課課長補佐。'92明治大学法学部法律学科卒。同大学理工学部建築学科修士入学。'96同大学院理工学研究科建築学専攻博士前期課程修了。

宮島和美(みやじまかずよし)

学校法人成城学園理事長。'733月成城大学文芸学部卒業。'224月より学校法人成城学園理事、'234月より現職。

山口澄章(やまぐちすみあき)

国立大学法人大阪大学共創推進部共創企画課長。

中里 宗敬（なかさとむねのり）

青山学院大学副学長、国際マネジメント研究科教授。東京工業大学大学院理工学研究科経営工学専攻修士課程修了。工学修士。

廣瀬 充重（ひろせみつげ）

立命館大学研究部次長・BKCRリサーチオフィスの課長。

高野 由希子（たかのゆきこ）

立命館大学研究部研究推進課長。

宮下 芳明（みやしたほうめい）

明治大学総合数理学部先端メディアサイエンス学科教授・学科長。北陸先端科学技術大学院大学で博士号（知識科学）取得。'23イグ・ノーベル賞受賞。

糸隆太（いとりゅうた）

福岡女学院大学人文学部准教授。'21早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士（文学）。早稲田大学文学部大学院助手等を経て、'23より現職。

中本 幸一（なかもとゆきかず）

ノートルダム清心女子大学情報デザイン学部教授。大阪大学大学院基礎工学研究科博

士後期課程修了。博士（工学）。日本電気㈱、兵庫県立大学大学院等を経て、'23より現職。

大谷 朝（おおたにあさ）

久留米大学人間健康学部教授。'11甲南女子大学大学院人文科学総合研究科博士後期課程修了。博士（人間科学）。精華女子短期大学を経て、'22より現職。

小原 敏郎（おはらとしお）

共立女子大学家政学部児童学科教授。'063月東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科修了。博士（教育学）。主著『子ども理解の理論及び方法』。

山登 敬之（やまとひろゆき）

明治大学子どものこころクリニック院長・文学部心理社会学科特任教授。'87筑波大学大学院博士課程医学研究科修了。博士（医学）、精神科認定医。

森下 典子（もりしたのりこ）

'78日本女子大学文学部卒業。『週刊朝日』にてアルバイトとして執筆活動を開始。'87『典奴どすえ』でデビュー。'02『日は好日「お茶」が教えてくれた15のしあわせ』を刊行。

外川 智恵（とがわちえ）

大正大学表現学部教授。同大学卒業。カリフォルニア臨床心理大学院修士課程修了。山梨放送を経てフリー。NTT技術ジャーナル巻頭インタビュー、新語・流行語大賞の総合司会など。

（お断り）本稿は、お書きいただいた資料から、できる限り統一して掲載いたしました。

会長並びに副会長の決定について

役員任期満了に伴い、6月18日開催の第4回理事会において、後任者を選任いたしました。会長並びに副会長については、左記の通りです。

任期は、令和6年6月18日から令和8年6月に開催される定時総会最終時までです。

- 会長 田中愛治 早稲田大学総長
- 副会長 曄道佳明 上智学院大学長
- 副会長 前田 裕 関西大学大学長

会長の動き

- 5月14日(火) 第2回常務理事会、第2回理事会に出席
- 5月22日(水) 全私学連合第289回代表者会議に出席
- 5月28日(火) 第3回常務理事会、第3回理事会に出席
- 6月6日(木) 私大連役員選考委員会に出席
- 6月18日(火) 国会議員への陳情
第1回総会、第4回理事会に出席

『令和5年度奨学金等調査報告書』を刊行

学生委員会奨学金等分科会において実施した「令和5年度奨学金等調査」の結果に基づき、『令和5年度奨学金等調査報告書』を刊行しました。

本調査報告書では、私大連加盟校の奨学金等制度の実態について、「全体集計」と、加盟大学を学部学生数別に3つのグループに分類した「グループ別集計」の結果をはじめ、さまざまな視点から分析した結果を、グラフと組み合わせるとりまとめましたので、ぜひご活用ください。



採用と大学教育の未来に関する産学協議会2023年度報告書
「産学連携による高度専門人材育成と、未来志向の採用を目指して」を公表

経団連と国公私立大学の代表者で構成される「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」は、2024年4月23日に、2023年度報告書「産学連携による高度専門人材育成と、未来志向の採用を目指して」を公表しました。

2023年度は「博士(前期・後期)課程の人材の活躍と大学院教育の充実」をテーマに取り上げ、①博士人材に対する経済的支援の拡充、②大学院教育改革、③採用選考における改善、④企業・大学間の人材流動性の向上(行き来の活性化)、の4つの視点から、企業・大学・政府に求められる取組み・施策について整理しました。また、2022年度に産学の合意に至った「産学協働による学生のキャリア形成支援活動」の、特に「タイプ3」のインターンシップの実施状況を確認するとともに、2030年に向けた採用のあり方についての産学間の議論の進捗を紹介しています。



開催報告

● 6月11日(火)
障害者差別解消法による合理的配慮の
提供の義務に関する説明会



詳細は、私大連Webサイトを
ご覧ください。

<https://www.shidairen.or.jp/>



私大連TOPICS

令和6年春の叙勲・褒章

(私大連事業関係者)

◆ 旭日重光章

高祖敏明

(上智大学名誉教授)

◆ 瑞宝重光章

土屋恵一郎

(明治大学元学長)

◆ 瑞宝中綬章

梶山皓

(獨協大学名誉教授)

鈴木典比古

(国際基督教大学名誉教授)

◆ 瑞宝小綬章

室山勝彦

(関西大学名誉教授)

第414号クローズアップ・インタビューに
おける人物名のルビについて

当該号113ページにおいて、「河鍋暁
斎」のルビについて「かわなべきようさ
い」としておりましたところ、「きようさ
い」ではないかとのご指摘を頂きました。
暁斎の読みにつきましては、学術的には
長く「ぎようさい」とされておりました
が、近年は「きようさい」が主流となっ
ております。

澤田瞳子様の著作『星落ちて、なお』に
おいても「きようさい」のルビが採用さ
れていることを踏まえ、大学時報Web
サイトに掲載しておりますPDF版につ
きましては、「きようさい」に改め、再掲
載いたしました。

座談会 「生涯教育からリスキリングへ—大学発 進化するリカレント教育」

特集 「通信課程教育の現状と可能性」

小特集 「学術情報流通をめぐる課題への対応」

だいがくのたから 流通科学大学

大学点描 慶應義塾大学

クローズアップ・インタビュー 中澤 創太さん(株式会社日本ヴァイオリン代表取締役社長)

編集後記

◆今回2010年代以降に多くの大学で様々な形で設置されている共同学習空間について、学生の利用方法や支援体制等の観点から、どのような変化・変遷、工夫・改善がなされているのかを事例を通して知ることができた。特に、コロナ禍を経験した事例では共通して学生の利用という点で大きな変化があった。対面を前提としたグループディスカッション等を誘発、活発化することを狙い整備してきたため、どの大学も苦慮している現実が見られた。今後オンラインという新たな学びやコミュニケーションツールをいかに既存の学習空間と融合させていくかが重要になるだろう。本特集では近年整備された最新の事例も取り上げることができた。これまでに整備されている他の事例の優れた点をさらに発展させ独自性を持たせながら取り入れられていることが印象的であった。今後、各大学で新たに整備される建物には共同学習空間が自然と組み込まれる未来も想像することができ、ますます楽しみである。〈広報・情報委員会大学時報分科会委員・関西学院広報部企画広報課課長 中谷良規〉

◆高等教育は「教育と研究を両輪としている」ということを耳にする機会が多く、教育力はもちろん、研究力を促進することが非常に重要であることは言うまでもない。しかしながら研究の成果を目にすることはあっても成果に至るまでの支援を目にする機会は少ない。研究成果には当然、研究者たちの日々の努力があることは言うまでもないが、支援体制があるからこそ良い成果につながることもあるだろう。今回の小特集では各大学での研究支援に注目し、紹介している。それぞれ特徴的な支援を行っているが、支援する組織が学長室の直下に設置されている事例もあり、まさに両輪と位置付け、重要視している。また、社会の変化に対応し、研究成果を事業化する仕組みを関係部局とも連携しながら確立するなど、大学全体で研究を支援する姿勢があることが印象的だ。研究支援の充実とは、研究そのものをマネジメントしていくという大学としての覚悟の表れなのかもしれない。〈広報・情報委員会大学時報分科会委員・法政大学多摩事務

部多摩事務課課長 須藤智徳〉

◆時代の変化に挑む大学職員像をテーマとした座談会では、この大きな変化が訪れるであろう大学業界において、大学職員に求められる姿勢やスキルなどが話題となった。各大学の組織や文化、求める人材像はそれぞれ異なるが、「ただ与えられた業務をこなすだけでなく自ら企画立案しトライ&エラーを繰り返すこと」、「積極的にスキルを身につけること」が、この先求められる共通の大学職員像として浮かび上がってきたように感じられる。

インタビューでは、『日は好日』の著者であるエッセイストの森下典子さんをお迎えした。文章を書く仕事に就きたいという自分の心に素直に従って、一生懸命に執筆し続けてきた森下さんのしなやかで正直な生き方にとても感銘を受けた。大学業界に限らず日々情勢が目まぐるしく変化し閉塞感が漂う現代において、自ら考え一歩を踏み出すことで、未来が切り拓かれるのではないだろうか。〈日本私立大学連盟事務局・梅村学園出向 吉田匡孝〉

一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (120大学 令和6年7月20日現在)

愛知大学
亜細亜大学
青山学院大学
跡見学園女子大学
梅花女子大学
文教大学
筑紫女学院大学
中京大学
中央大学
大東文化大学
獨協大学 }
獨協医科大学 }
姫路獨協大学 }
同志社大学 }
同志社女子大学 }
フェリス女学院大学
福岡大学
福岡女学院大学 }
福岡女学院看護大学 }
学習院大学 }
学習院女子大学 }
白鷗大学
阪南大学
広島女学院大学
広島修道大学
法政大学
実践女子大学
上智大学
城西大学 }
城西国際大学 }
順天堂大学
金沢星稜大学

関西大学
関西学院大学
関東学園大学
関東学院大学
慶應義塾大学
敬和学園大学
神戸女学院大学
皇學館大学
國學院大學
国際武道大学
国際基督教大学
駒澤大学
甲南大学
久留米大学
共立女子大学
京都産業大学
京都精華大学
京都橘大学
九州産業大学
松山大学
松山東雲女子大学
明治大学
明治学院大学
宮城学院女子大学
桃山学院大学 }
桃山学院教育大学 }
武蔵大学
武蔵野大学
武蔵野美術大学
名古屋学院大学
南山大学
日本大学

日本女子大学
ノートルダム清心女子大学
大阪学院大学
大阪医科薬科大学
大阪女学院大学
大谷大学
追手門学院大学
立教大学
立正大学
立命館大学 }
立命館アジア太平洋大学 }
龍谷大学
流通科学大学
流通経済大学
西武文理大学
聖学院大学
成城大学
聖カタリナ大学
成蹊大学
西南学院大学
聖路加国際大学
清泉女子大学
聖心女子大学
専修大学 }
石巻専修大学 }
芝浦工業大学
白百合女子大学 }
仙台白百合女子大学 }
昭和女子大学
創価大学
園田学園女子大学
大正大学

拓殖大学
天理大学
東邦大学
東北学院大学
東北公益文科大学
東海大学
常磐大学
東京女子大学
東京女子医科大学
東京経済大学
東京国際大学
東京農業大学 }
東京情報大学 }
東京歯科大学
東洋大学
東洋英和女学院大学
東洋学園大学
豊田工業大学
津田塾大学
和光大学
早稲田大学
山梨英和大学
四日市大学 }
四日市看護医療大学 }

大学時報 University Current Review

2024/7月号

第73巻417号(通巻430号)

令和6年7月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 森康俊(関西学院大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
私学会館別館
電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363
<https://www.shidaiaren.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20
明治安田生命大阪梅田ビル3階
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-1
住友不動産虎ノ門タワー20階

松田美佐(中央大学文学部教授)
須藤智徳(法政大学多摩事務課課長)
中山映(上智大学学事局学事センター事務長)
玉村まゆか(関西大学総合企画室広報課課長)
中谷良規(関西学院広報部企画広報課課長)
河越英代(慶應義塾広報室長)
野見山智道(明治大学経営企画部広報課長)
大野百合子(立教学院総長室渉外課課長補佐)
立岩健一(立命館大学総合企画部広報課課長)
山田健太(専修大学文学部教授)
高橋慈海(大正大学ブランディングセンター長、広報部部长)
大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)
五十嵐俊也(津田塾大学経営企画課課長)
小泉邦人(早稲田大学エクステンションセンター事務局長兼社会人教育事業室課長)
齋藤淳(日本私立大学連盟事務局)
加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)
吉田匡孝(日本私立大学連盟事務局)

